

16 柔 道

大会名称 令和6年度宮崎県高等学校新人総合体育大会 第64回柔道競技大会
(兼 九州高等学校新人柔道大会宮崎県予選会)

主 催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会

後 援 公益財団法人宮崎県スポーツ協会・宮崎県柔道連盟

主 管 宮崎県高等学校体育連盟柔道専門部

1 期 日

(1) 柔 道 競 技 開 会 式

①日時 令和6年10月19日(土) 10:00開会式

②会場 ひなた武道館柔道場(宮崎県武道館)

(2) 日 程

令和6年10月18日(金)	12:00～会場設営～公式練習～17:00迄
令和6年10月19日(土)	10:00開会式終了後～団体試合～表彰～公式計量(表彰式終了後1時間)～終了
令和6年10月20日(日)	10:00～個人試合～表彰～閉会式

(3) 諸 会 議

令和6年 9月26日(木)	10:00～16:00 専門委員会(専門委員のみ)	ひなた武道館 柔道場
令和6年 9月27日(金)	10:00～16:00 監督会議(各学校監督)	
令和6年10月19日(土)	8:00～公式練習	
10月20日(日)	9:15～9:45 審判・監督・競技役員・補助員・各校代表者打合せ	
令和6年10月20日(日)	閉会式終了後～九州大会出場校監督申込関係打合せ	

2 競 技 規 則 ・ 競 技 方 法

(1) 競技規則

① 試合は国際柔道連盟試合審判規定(新ルール)による。

② 宮崎県高体連柔道専門部申し合わせ・確認事項(ただし上位大会の競技規則に準ずるので、変更することがある)

ア 団体試合

(ア) 試合時間は4分3分とする。GSは時間無制限とする。

(イ) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」(指導差が2)とする。「技有」数や「僅差」で勝敗がつかない場合は、引分とする。

(ウ) トーナメント戦で対戦内容がすべて同等の場合は、チームから任意選出で代表戦を行う。リーグ戦においてはリーグ戦全試合終了後、対戦内容がすべて同等の場合のみ対象チームから任意選出で代表戦を行う。

(エ) 代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。代表戦の競技方法は4分間の試合を実施する。その試合において「技有」や「僅差」で勝敗がつかない場合は、GSを行う。GSの競技方法については個人試合に準ずる。

(オ) 組合せについては、前年度一年生大会団体(個人)試合結果(前年度は中止のため、本年度一年生大会団体試合結果も考慮)を基準とし審議する。ただし、各種県大会の結果も参考にして専門委員会で検討する。(専門委員会においてシード校を選出。監督会議で決定後、抽選を実施)

イ 個人試合

(ア) 試合時間は4分3分とする。

(イ) 勝敗の判定基準は、一本や反則負けがない場合は「技有」または「僅差」(指導差が2)とする。スコアが同等の場合や指導差が1の場合は、GSにより勝敗を決する。

(ウ) GSについては、本戦で与えられたスコアおよび罰則が引き続き反映され、「技有」以上及び「指導」の数に

差がついた時点で勝敗が決する。

- (エ) 組合せについては、前年度・本年度一年生大会個人試合結果を基準とし審議する。ただし、各種県大会の結果も参考にして専門委員会で検討する。(専門委員会においてシード選手を選出。監督会議で決定後、抽選を実施)

ウ 「技の内容」と「指導」の重み

【団体試合】 一本＝合わせ技＝反則勝ち＞技有＞僅差（指導差２）の順とする。

【個人試合】 一本＝合わせ技＝反則勝ち＞技有＞僅差（指導差２）の順とする。

※指導１では勝敗は決さない（GSに入る）。

【 GS 】 一本＝合わせ技＝反則勝ち＞技有＞指導の順とする。

※指導による勝敗は、延長戦に入ってから指導の差により決する。

(2) 競技方法

① 団体試合の流れ

ア 男子団体においては、予選はリーグ戦を原則とする。以後、予選リーグの勝ちチームによるトーナメント法で行い、上位４校による決勝リーグ戦によって決する。選手と補欠の交代は２名までとし、オーダー順の入れ替えは認めない。

イ 女子団体においては、原則として準々決勝まではトーナメント戦で行う。以後、上位４校による決勝リーグ戦によって決する。選手と補欠の交代は１名までとし、オーダー順の入れ替えは認めない。

② 団体試合の勝敗について

ア リーグ戦の順位決定および勝敗は次による。

(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(イ) (ア) で同等の場合は、２－(1)を基準に勝ち数の多いチームを上位または勝ちとする。さらに勝率が同等のチームがでた場合は、２－(1)を基準に負け数の少ないチームを上位または勝ちとする。なお、すべてにおいて同等の場合は、代表戦を行う。

イ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(イ) (ア) で同等の場合は、２－(1)を基準に勝ち数の多いチームを勝ちとする。なお、同等の場合は代表戦を行う。

③ 個人試合について

ア 個人試合は体重別試合とする。

イ 試合はトーナメント方式とし、必ず優劣をつける。

ウ 階級によっては、エントリー数により同じ学校の選手の対戦を行う。

エ 体重区分

【男子】 100kg 超、100kg、90kg、81kg、73kg、66kg、60kg の 7 階級とし、各学校各階級 4 名以内とする。

【女子】 78kg 超、78kg、70kg、63kg、57kg、52kg、48kg の 7 階級とし、各学校各階級とも人数制限はない。

3 引 率 ・ 監 督 に つ い て

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- (3) ただし、外部指導者について各競技専門部における規定が定められ、監督・コーチが上記の基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。
- (4) 監督は、自身の所属団体および所属するすべての選手が大会会場に入場してから退場するまでの間、所属団体および所属するすべての選手の行動に責任を持たなければならない。
- (5) 監督の行為・言動についての確認と禁止事項

- ①試合が止まっている間（「まで」から「はじめ」）のみ、所属選手に対し指示を与えることができる。
- ②大会会場内での言動やマナーについて、所属団体・所属選手・所属応援者・所属関係者に大会前に周知徹底しなければならない。
- ③試合が進行している最中に、指示を出すことや試合中に立ち上がることを禁止する。
- ④対戦校・対戦相手・審判員・役員・応援者・自身の所属選手を侮辱する言動や行為を禁止する。
- ⑤審判員や補助役員（計時係）の判定に対し、批判的発言、あるいは適正な手順なく訂正を要求することを禁止する。
- ⑥その他、柔道精神・道徳に反する行為を一切禁止する。
- ⑦原則として、監督は審判員に準じた服装とする。

(6) 監督の行為・言動についての罰則規定（全柔連規定）

- ①1回目は審判員が合議の上、口頭による「警告」を与える。
- ②1回目の「警告」で改善されない場合は、審判員が合議の上、大会委員長および審判長に報告し、大会委員長および審判長の責任のもと、試合が終わるまで監督席から退場（試合場フロア外）させる。ただし、試合はその後も続行する。
- ③3 - (6) - ②の事象が発生した場合、次の試合（団体試合は次の対戦校）からは監督席に座ることができるが、その後も改善されない場合は、大会期間中の試合場フロアへの立ち入りを認めない。

4 参 加 資 格

- (1) 参加選手は宮崎県高等学校体育連盟に加盟している高等学校（中等教育学校・工業高等専門学校を含む）の生徒で1・2年生であること。
- (2) 公益財団法人全日本柔道連盟に登録をしていること。
- (3) 年齢は、平成18年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技2回までとする。
- (4) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成チームは認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加は認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は所属高等学校長の申請により宮崎県高体連会長の認可があれば、この限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (8) 上記（1）に定める生徒以外の参加については、参加資格の特例とし、宮崎県高等学校総合体育大会開催基準要項の通りとする。
- (9) 脳震盪について指導者および選手は、次の事項を遵守すること。
 - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、早急に専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
 - ③練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は、大会事務局および（公財）全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (10) 4 - (1)~(9)に違反した場合、または高等学校生徒として品位を保てないと認めたときは、専門委員会を経て出場を停止させることができる。

5 参 加 制 限

- (1) 団体試合については、各校ともに男子団体1チーム、女子団体1チームとする。（男女とも体重制限なし）

	監 督	選 手	補 欠	計
男 子 団 体	1名	5名	2名	8名
女 子 団 体	1名	3名	1名	5名

- (2) 個人試合については、男子個人は各学校各階級4名以内とする。女子個人は各学校各階級とも人数制限はない。ただし、公式計量に合格できない者は出場できない。

(3) 外国人留学生の参加については、団体試合は男女とも1名以内は認める。個人試合は参加制限なし。

7 表 彰

団体試合1位～3位(3位は2校)・個人試合1位～3位(3位は2名)を表彰する。

8 参 加 申 込

(1) 申込先

〒880-0124 宮崎市大字新名爪4567番地 県立宮崎北高等学校内保健体育科	
宮崎県高体連柔道専門部 副委員長	矢野 美華 宛 TEL 0985-39-1288
	FAX 0985-39-1328
	E-mail mikamika19770129@yahoo.co.jp
※所定の申し込み用紙1部を作成し、送付するとともに申込書電子ファイルをメールに添付して送信すること。	

(2) 申込締切日は、令和6年9月18日(水) 必着のこと。締切後は受け付けない。

9 参加料 1人400円とする。

徴収方法は、各学校の指示に従うこと。参加料の納入は、高体連発番の文書に従い、学校単位で行うこと。

10 資 格 取 得 に つ い て

九州高等学校新人柔道大会…男子団体1～3位(ただし3位は2校) 計4校
女子団体1～3位(ただし3位は1校) 計3校
男女個人各階級1・2位入賞者。

11 参 加 上 の 注 意

- (1) 団体試合の申込は、男子7名登録・女子4名登録とし、オーダー順については9/27(金)の監督会議で提出とする(大会当日の審判・監督会議ではない)。その後のオーダー順および選手変更は認めない。大会直前の事故や怪我等により、やむを得ず選手交代(団体試合・個人試合)を必要とする場合は、関係機関からの証明書を提出すること。当日の監督会議にて事象説明し可否を審議する。
- (2) 団体試合において選手と補欠の交代は、交代する選手の位置に補欠を入れること。一度退いた選手は再度出場することはできない。
- (3) 男子団体試合においては2人、女子団体試合においては1人の補欠が交代した後に、事故や怪我等の事象が起き選手が競技続行不可能となった場合、その後の団体試合は欠員の人数で試合を行う。
- (4) 競技中の疾病・傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後は独立行政法人日本スポーツ振興センターの規定に従って各学校で対応・対処すること。

12 連 絡 事 項

- (1) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (2) その他不明な点は、宮崎県高体連柔道競技専門部 委員長 山元 健嗣(富島高等学校)まで連絡のこと。

特記事項

～ 各校監督・指導者・顧問の先生方へ ～

申し込みに関しましては、保護者承諾・学校長承諾が参加条件です。また、感染症対策の習慣化とルールの確認を徹底してください。

全国インターハイに準じて、試合時間は3分間で実施します。

※高体連で取り扱う個人情報については、要覧記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。